

令和2年6月定例会 請願文書表

＜文教厚生委員会＞ 新規分

受理 番号	受 理 年月日	件 名 ・ 要 旨 (紹 介 議 員 氏 名)	提 出 者 住所 氏名
9の2	令和2. 6.8	『ひとりひとりを大切にするゆきとどいた教育について』 子どもたちのひとりひとりが大切にされ，安心して学べるよう，次の事項について配慮願いたい。 ① 教職員の長時間過密労働解消に向け，県独自に正規採用教職員を増やすこと。 ② 小中学校の30人以下学級を実現すること。また，その実現を国に働き掛けること。 ③ さらに就学援助を拡充すること。 ④ 給付型奨学金制度を拡充すること。 ⑤ 特別支援学校の過大・過密を解消するために学校・学級数を増やすこと。また，その設置基準を策定するよう国に働き掛けること。 ⑥ 全ての県立学校にエレベーターを設置すること。 ⑦ 給食費などの義務教育費無償化を国に働き掛けること。 ⑧ 県下の小学校に英語の専門教諭を配置すること。 ⑨ 新型コロナウイルス感染症の防止対策として，密を解消するために小中学校のークラスの学級定員数を減らすよう国に働き掛けること。また，教職員増を国に働き掛けること。 ⑩ 児童生徒の心のケアや学びを支援するためにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを増員するよう国に働き掛けること。 (山田豊 達田良子 扶川敦)	ゆきとどいた教育をめざす徳島県連絡会 代表者 山本 正美 外1名 (831名の署名添付)